

高齢がん患者の薬物療法中止における老人看護専門看護師のコーディネーション —患者の価値観を尊重した意思決定支援の実践を通して—

研究の概要

本研究は、薬物療法の継続が困難となった高齢がん患者に対して、老人看護専門看護師が行った意思決定支援およびコーディネーションの実践を振り返る事例研究です。診療録や看護実践記録を用いて、患者との対話を通して把握した価値観や希望、家族・受け持ち看護師・多職種との情報共有や調整、患者の希望を反映した療養支援の経過を整理し、老人看護専門看護師の役割について検討します。

研究の目的

薬物療法の中止を検討する高齢がん患者への意思決定支援において、患者が大切にしていることや価値観をどのように把握し、家族や看護師、多職種と共有しながら支援していくことが重要であるかを明らかにすることを目的とします。また、老人看護専門看護師が患者・家族・医療者間を調整するコーディネーションの役割について検討します。

本研究への参加について

本研究は、診療録および看護実践記録を用いて行う事例研究であり、研究のために新たな検査や治療、質問等を行うものではありません。

本研究への参加は自由意思によるものであり、研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。研究への参加を拒否された場合でも、今後の診療や看護において不利益を受けることはありません。

調査する内容

診療録および看護実践記録から、以下の内容を確認し、研究に必要な情報を抽出します。

- ・病状および治療経過
- ・薬物療法中止に至る経過
- ・患者が表出した思いや希望、価値観
- ・患者・家族との関わりの経過
- ・受け持ち看護師や多職種との情報共有・調整の内容
- ・患者の希望を踏まえた療養支援の内容および経過

研究に必要な情報のみを使用し、個人が特定されないよう匿名化して取り扱います。

対象となる人への利益・不利益

本研究に参加することによる対象者への直接的な利益はありません。また、本研究では既存の診療録および看護実践記録を用いるため、研究のために新たな検査や処置、面接等を行うことはなく、身体的な負担はありません。

研究期間

研究実施許可日～2026年12月

学会発表

2026年10月 第22回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会

研究責任者

国立病院機構東広島医療センター

看護部 老人看護専門看護師 松原 智美

問い合わせ先

国立病院機構東広島医療センター

〒739-0041 東広島市西条町寺家513 電話：082-423-1180（代表）

国立病院機構東広島医療センター 看護部 老人看護専門看護師 松原 智美